

令和3年度 県南支部活動報告

- 1 研究主題 「生徒が妥当性について多面的に検討する力を育む理科学習」
副 題 ～思考する場面と視点を明確に設定した指導方法の工夫～

2 活動・研究計画

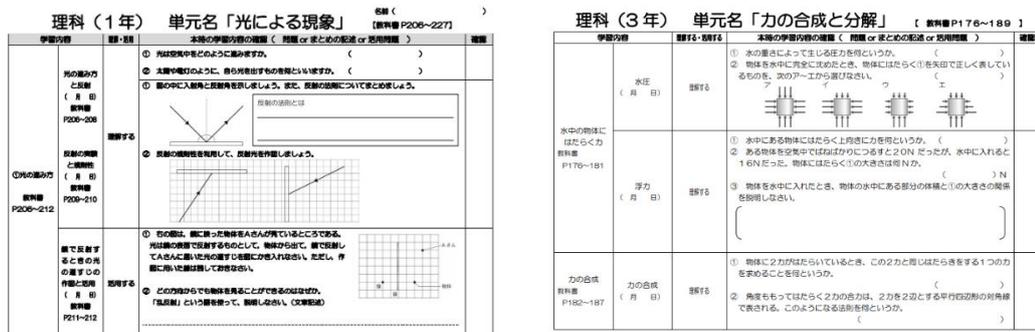
月	行 事	内 容
4	○令和3年度 第1回理科担当者会 (4月6日 まなびピア)	・令和3年度支部役員の決定
5		・各学校でふりかえりシートの作成
6		
7		
8	○第2回理事会 (8月3日 油津中)	・巡検内容及び場所の検討 ・ふりかえりシート修正 ・発表資料の検討、修正
9		・発表資料作成
10	○第3回理事会 (10月11日 油津中)	・確認テストの作成
11		・発表資料完成、提出
12		・確認テストの作成、検討
1		・確認テストの実施
2	○第4回理事会(指導案検討) (2月10日 南郷中) ○第1回授業研究会 (2月22日 南郷中)	・授業内容の検討 ・授業検討、次年度に向けての協議等

3 研究の実際

(1) ふりかえりシートの作成(第1～3学年 エネルギー領域)

南那珂地区の全学校で分担し、3学年分のふりかえりシートの作成を行った。作成のポイントは以下のとおりである。

- ① 全授業を「理解する授業」と「活用する授業」に分けて、生徒に今日の授業はどちらに重点を置くかを理解させたうえで授業を進められるようにすること。
- ② 授業のポイントを、達成問題またはまとめの記述等でふりかえることのできる形式とし、シートを見れば学習の流れが分かるようにすること。



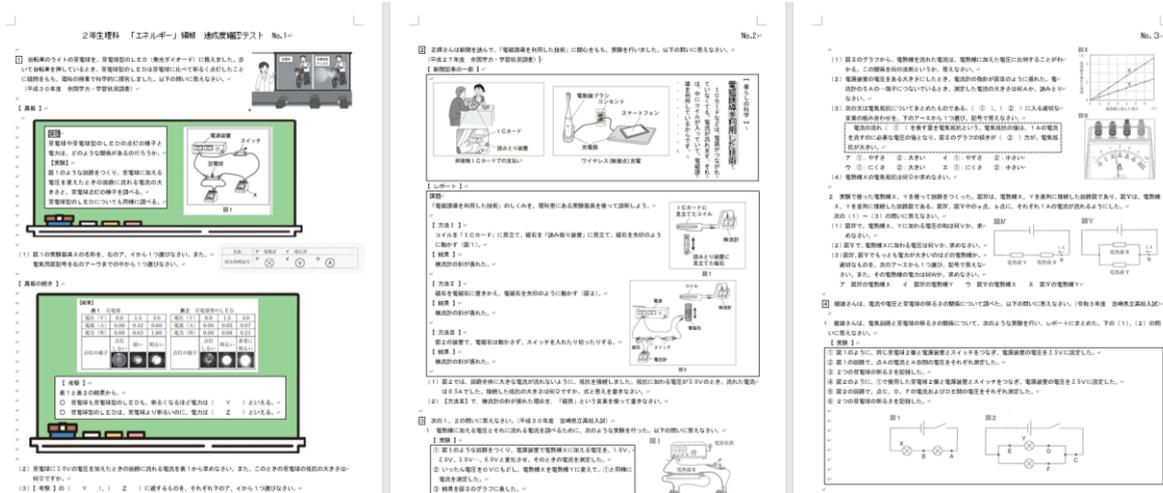
【図1】 ふりかえりシート(1年理科、3年理科の例)

昨年度の実践を踏まえて、本年度は全学年のふりかえりシートを作成し、地区内の全学校でシートを活用した実践を行った。

(2) 評価問題の作成・分析

ふりかえりシートを活用した授業実践を行った後、地区の子どもたちの学力変容を検討するために評価問題を作成し、研究部で検討を行った。作成のポイントは以下のとおりである。

- ① 過去の全国学力・学習状況調査、みやぎ学習状況調査および宮崎県立高校入試の問題から出題し、比較・検討ができるようにした。

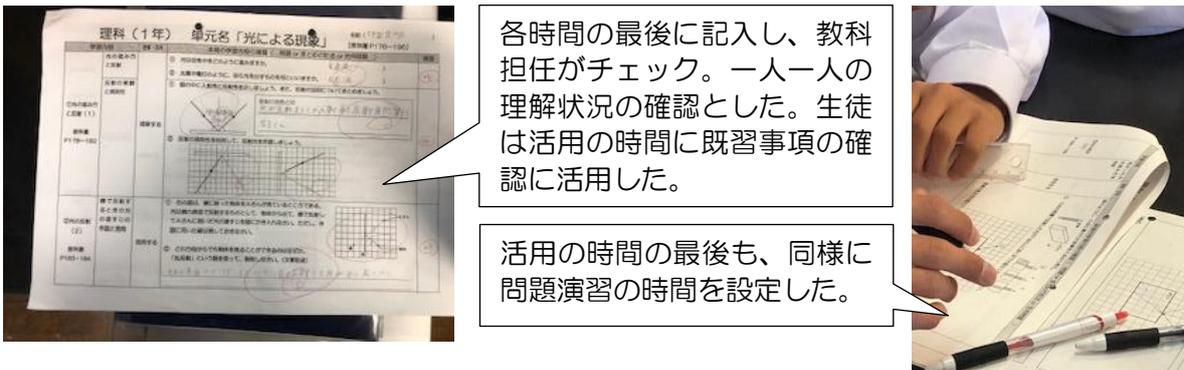


【図2】 第2学年（エネルギー領域）における評価問題の一部
単元末に実施し、各学校の結果を集約し、過去の分析結果と照らし合わせ、基礎的な知識・技能および思考力・判断力・表現力の定着状況を分析した。

(3) ふりかえりシートを利用した授業の実践

各学校で、ふりかえりシートを活用した授業実践を行った。ふりかえりシートは活用場面を限定せず、指導者によって使い方は自由にした。また、内容についてもアレンジすることが可能で、情報を共有することで活用方法を広げられるようにする。

- ① 授業終わりに活用する場面（昨年度の実践より）



本年度は、授業終わりだけでなく、授業のはじめに前時の振り返りとして小テストとして活用した学校もあった。

研究授業を2月22日（火）に実施する予定。指導案検討を2月10日（金）に実施する。その際に、今後の活用方法についても地区の理科担当者で話し合いを行い検討していく。

4 研究の成果と今後の課題

【成果】

- エネルギー全領域のふりかえりシートを地区の理科担当全員で作成し、共有することができた。著作権の問題については、図版を教科書のものを中心に活用することで共通理解をはかった。
- 言葉で表現や説明をする内容、グラフを作成する内容も加えることができた。
- 評価問題を作成し、実施することができた。
- ふりかえりシートを活用することによって、授業全体の見通しをもたせることができるようになり、学習後の振り返りもスムーズになった。

【課 題】

- ふりかえりシートの活用方法について、多様な意見を求め、より広がりをもたせられるようにしたい。
- 今年度も感染症対策等のため、主任会や理事会の回数を抑えてきた。そのため、実践についての振り返りが十分できていないところがある。
- ICTなどと連携させ、より活用が図れるような工夫を考えていきたい。
- 評価問題の分析を、継続して行う必要がある。